

健診部健康管理センター

(a) 体制

センター長：塚本達雄、部長：中川靖章、副部長：遠藤真紀子、榊原敦子、豊田絵子

非常勤：小倉早奈恵、藤川潤、光野重根

脳神経内科、消化器内科、眼科、産婦人科、乳腺外科、泌尿器科の先生方

放射線科、臨床検査科、病理診断科の皆さま

(b) 診療実績

1. 令和6年度健診部業務実績（月別）

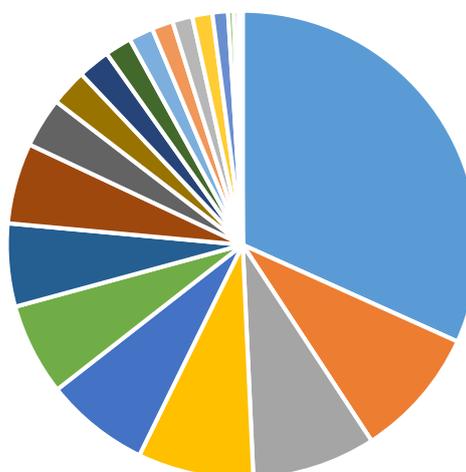
日帰りドックと一泊ドックの標準セットに脳、心臓、大腸、肺のオプションを組み合わせてドック利用者の希望にあわせた検査選択ができるようになっている。心臓に関しては日帰りの場合には心臓ドックとして対応し、心臓オプションは一泊ドックでの選択肢として提供している。従来は脳MRI/MRA および頸椎レントゲン写真を組み合わせた「脳画像診断」と「脳画像診断」に内科的検査を加えた「脳ドック」を提供していたが、「脳ドック」を廃止し「脳画像診断」を「脳ドック」と改称して日帰りおよび一泊ドックのオプションとして扱うこととなった。

ドック内訳	受診者数
日帰りドック	2,937
一泊ドック	760
心臓ドック	13
脳ドック	669
大腸オプション	192
心臓オプション	87
肺オプション	355
PET 健診	99

2. 院内対診状況

ドック受診時に精密検査が必要と判定された場合には、ほとんどの場合には医学研究所北野病院の専門診療科への対診（院内紹介状）を作成している。すでに他施設での診療が行われている場合には、診療情報提供書を作成して他施設の該当診療科への紹介を行っている。2024年度の対診件数は1309件であり、最も多かったのは消化器内科で全体の訳1/3を占めるが、ほとんどすべての診療科への対診作成が行われていた。

- 消化器内科
- 泌尿器科
- 糖尿病内分泌内科
- 呼吸器内科
- 耳鼻咽喉科
- 整形外科
- 皮膚科
- 腎臓内科
- リウマチ膠原病内科
- 心臓血管外科
- 呼吸器外科
- 眼科
- 心臓センター
- 乳腺外科
- 産婦人科
- 脳神経内科
- 脳神経外科
- 形成外科
- 血液内科
- 消化器外科
- 初期診療科



(c) 研究実績

【国内学会発表】

- ・遠藤真紀子、豊田絵子、中川靖章、塚本達雄：人間ドックの下部消化管内視鏡検査で発見された大腸ポリープの検討 第65回日本人間ドック・予防医療学会学術大会、2024年9月6-7日（横浜）
- ・重山智忠：生成AIで実現する個別化したオプション検査の提案について 第65回日本人間ドック・予防医療学会学術大会、2024年9月6-7日（横浜）
- ・土山明子、朝山欣英、重山智忠、高木真紀子、岸田綾子、曾根真理子、伊倉里佳、高橋優子：POST CORONA時代に対応した新たな価値への取り組み 第65回日本人間ドック・予防医療学会学術大会、2024年9月6-7日（横浜）
- ・岡愛実子、八木麻未、榊原敦子、上田豊、伊藤ゆり：地域・全国がん登録データとの比較による婦人科腫瘍登録のカバー率および精度の検証 第66回日本婦人科腫瘍学会学術講演、2024年7月18-20日（鹿児島）
- ・榊原敦子、伊藤ゆり、上田豊、中山健夫、片山俊郎、内田博之、小田切陽一、松井邦彦、宮崎貴久子、寺川耕市、岡愛実子、八木麻未、角田守、小西 郁生：子宮頸癌治療症例の年齢と組織型による生存格差(2000-2013年) 第66回日本婦人科腫瘍学会学術講演、2024年7月18-20日（鹿児島）
- ・八木麻未、上田豊、岡愛実子、角田守、池田さやか、榊原敦子、伊藤ゆり、木村 正：地域がん登録データを用いたHPV関連がんの動向の解析(1977-2019年)子宮頸がんの年齢調整罹患率の増加トレンドの横ばい化についての検討 第76回日本産科婦人科学会学術講演会、2024年4月19-21日（横浜）
- ・Atsuko Sakakibara, Yuri Ito, Yutaka Ueda, Asami Yagi, Mamoru Kakuda, Emiko Oka, Koichi Terakawa, Ikuo Konishi. : Survival disparities related to age and histology of cervical cancer patients in Japan (2000-2013). 第76回日本産科婦人科学会学術講演会、2024年4月19-21日（横浜）
- ・Emiko Oka, Asami Yagi, Atsuko Sakakibara, Yutaka Ueda, Yuri Ito, Tadashi Kimura. : Regional differences in cervical cancer survival by prefectures in Japan -Application of funnel plots in excess hazard model-. 第76回日本産科婦人科学会学術講演会、2024年4月19-21日（横浜）
- ・榊原敦子、伊藤ゆり、上田豊、岡愛実子、内田博之、小田切陽一、宮崎貴久子、中山健夫. Early-onset cervical cancer の潜在的 HPV 関連扁平上皮癌における予後不良：臓器別がん登録(2000-2013年)を使用した Net survival. 第35回日本疫学会学術総会、2025年2月12-14日（高知）
- ・馬場大輔、安原梅夫、山地杏平、木下秀之、井上智之、塩見紘樹、中川靖章、桑原宏一郎、尾野亘：CRBSIをきっかけにALIを発症したPAHの1症例 第9回日本肺高血圧・肺循環学会学術集会、2024年8月9-10日（久留米）
- ・井川彰久、木下秀之、谷澤公伸、金森敬彦、柳澤洋、森内健史、稲住英明、中川靖章、桑原宏一郎、尾野亘：リンパ節腫脹による肺血管圧迫が疑われたサルコイドーシスの1例 第9回日本肺高血圧・肺循環学会学術集会、2024年8月9-10日（久留米）
- ・森永晃史、木下秀之、田淵裕也、金森敬彦、柳澤洋、森内健史、稲住英明、中川靖章、桑原宏一郎、尾野亘：Treprostinil持続皮下注を含む併用療法を行ったSLE-PAHの1例 第9回日本肺高血圧・肺

循環学会学術集会、2024年8月9-10日（久留米）

- ・井川彰久、木下秀之、谷澤公伸、金森敬彦、柳澤洋、森内健史、稲住英明、中川靖章、桑原宏一郎、尾野亘：リンパ節腫脹による肺血管圧迫が疑われたサルコイドーシスの1例 第9回日本肺高血圧・肺循環学会学術集会第44回日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会、2024年10月11-12日（神戸）
- ・丹羽篤人、半田貴也、鹿野友美夏、花房藍、福田結衣、大植薫、宮内美帆、東良亮、遠藤知美、高廣望、岡本英将、椎木博輝、藤井雅基、祖開祐子、辻宜樹、塚本達雄：単純血漿交換療法（PEx）を含む集学的治療が奏功した顕微鏡的多発血管炎（MPA）の一例 第42回アフェレシス学会関西地方会、2024年2月10日（大阪）
- ・石村拓也、石井輝、山田博之、中川靖章、杉岡清香、桑原宏一郎、柳田素子、横井秀基：サクビトリルは腎虚血再灌流による拡張型心筋症モデルマウスの腎障害を改善する 第69回日本透析医学会学術集会・総会、2024年6月7-9日（横浜）
- ・福田結以、遠藤知美、齋藤亘、東良亮、半田貴也、塚本達雄：血行再建術施行も治療抵抗性の重症下肢虚血に対し、レオカーナを施行し下肢切断を回避できた一例 第69回日本透析医学会学術集会・総会、2024年6月7-9日（横浜）
- ・丹羽篤人、半田貴也、松本佳己、小松研一、祖開裕子、辻宜樹、塚本達雄：Blood volume (BV)の経時的観察が安全な単純血漿交換(PEx)の施行に貢献した Guillain-Barre 症候群(GBS)の一例 第69回日本透析医学会学術集会・総会、2024年6月7-9日（横浜）
- ・菊地聡太、大植薫、宮内美帆、丹羽篤人、福田結以、花房藍、鹿野友美夏、東良亮、半田貴也、遠藤知美、塚本達雄：成人型大動脈縮窄症を合併する血液透析導入 第69回日本透析医学会学術集会・総会、2024年6月7-9日（横浜）
- ・鹿野友美夏、半田貴也、池谷桃子、宮崎嘉也、東良亮、塚本達雄：早期血液浄化療法で救命できたメトホルミン関連乳酸アシドーシスの一例 第69回日本透析医学会学術集会・総会、2024年6月7-9日（横浜）
- ・花房藍、近藤麻紀子、市岡光洋、酒井直樹、塚本達雄、古宮俊幸：ペムブロリズマブ使用後に重篤な腎障害を発症し透析導入となった1例 第69回日本透析医学会学術集会・総会、2024年6月7-9日（横浜）
- ・嶋田有紗、福田結以、池谷桃子、大沢一希、東良亮、西岡敬佑、半田貴也、塚本達雄：bacterial translocationに伴う菌血症・紫斑が合併した肝腎症候群I型の一例 第69回日本透析医学会学術集会・総会、2024年6月7-9日（横浜）
- ・半田貴也、花房藍、宮内美帆、大植薫、遠藤知美、塚本達雄：レオカーナ施行時のブラジキニンの動向 第69回日本透析医学会学術集会・総会、2024年6月7-9日（横浜）
- ・大植薫、半田貴也、遠藤知美、武曾恵理、塚本達雄：種々の腎疾患の腎機能低下過程における糸球体硬化と間質線維化率の差異 第67回日本腎臓学会学術総会、2024年6月28-30日（横浜）
- ・遠藤知美、鹿野友美夏、福田結以、大植薫、丹羽篤人、宮内美帆、東良亮、半田貴也、武曾恵理、塚本達雄：当科におけるANCA関連血管炎に対するアバコパンの有用性と安全性 第67回日本腎臓学会学術総会、2024年6月28-30日（横浜）
- ・宮内美帆、遠藤知美、半田貴也、武曾恵理、塚本達雄：IgA血管炎とIgA腎症における臨床的及び病

理学的相違の比較検討 第 67 回日本腎臓学会学術総会、2024 年 6 月 28-30 日（横浜）

- ・半田貴也、花房藍、宮内美帆、大植薫、遠藤知美、塚本達雄、武曾恵理：顕微鏡的多発血管炎におけるグリコカリックス構成成分 第 67 回日本腎臓学会学術総会、2024 年 6 月 28-30 日（横浜）
- ・高柳俊亮、森慶太、荒木望嗣、松本篤幸、姜伶奈、遠藤知美、岡田絵里、野津寛大、武曾恵理、柳田素子、奥野恭史、塚本達雄：新規 GATM 遺伝子変異 (Q268E) による家族性 Fanconi 症候群の同定と分子動力的病因解析 第 67 回日本腎臓学会学術総会、2024 年 6 月 28-30 日（横浜）
- ・玉垣圭一、伊吹英美、塚本達雄、丸山彰一：日本腎生検レジストリー/日本腎臓病総合レジストリー-J-RBR を利用した、わが国の感染関連腎炎の臨床像についての検討 2018~2022 年調査(シンポジウム) 第 67 回日本腎臓学会学術総会、2024 年 6 月 28-30 日（横浜）
- ・菊地聡太、大植薫、宮内美帆、三島奈都美、花房藍、桂健介、半田貴也、遠藤知美、武曾恵理、塚本達雄、松原雄：原因不明の Fanconi 症候群にて腎生検を行い、退院後に紅麹サプリメント服用歴が判明した一例 第 54 回日本腎臓学会西部学術大会、2024 年 10 月 5-6 日（姫路）
- ・三島奈都美、高柳俊亮、森慶太、半田貴也、遠藤知美、塚本達雄、松原雄：多発性嚢胞腎に生じる出血合併嚢胞感染における出血コントロールの重要性 第 54 回日本腎臓学会西部学術大会、2024 年 10 月 5-6 日（姫路）
- ・嶋田有紗、遠藤知美、福田結以、桂健介、花房藍、三島奈都美、大植薫、宮内美帆、半田貴也、北井悠一郎、武曾恵理、塚本達雄、松原雄：Ifosfamide によると考えられる尿細管障害が不可逆性を呈した一例 第 54 回日本腎臓学会西部学術大会、2024 年 10 月 5-6 日（姫路）
- ・八幡兼成、古賀健一、平井大輔、瀬田公一、森慶太、東良亮、塚本達雄、石井輝、金子恵一、柳田素子、木下千春、大崎啓介、吉本明弘、畑啓昭、坂根直樹：経皮的腎生検における予防抗菌薬投与についての多施設共同ランダム化比較試験 第 54 回日本腎臓学会西部学術大会、2024 年 10 月 5-6 日（姫路）
- ・山田博之、塚本達雄、松原雄、金子恵一、柳田素子：急性血液浄化の最前線 安全でエビデンスに基づいた血液浄化を目指した取り組み 第 35 回日本急性血液浄化学会学術集会、2024 年 10 月 19 日-20 日（甲府）
- ・塚本達雄：血液浄化施行時の安全管理(よくわかるセミナー) 第 35 回日本急性血液浄化学会学術集会、2024 年 10 月 19 日-20 日（甲府）
- ・中川靖章（座長）ランチョンセミナー11「心不全パンデミックの時代における BNP 検査—地域医療連携と制度管理の重要性—」 第 71 回日本臨床検査医学会学術集会、2024 年 11 月 30 日（大阪）

【国際学会発表】

- ・S Miyamoto, T Nishikimi, Y Nakagawa. Early increase and subsequent decrease in mature BNP and early decrease and continued decrease in proBNP after sacubitril/valsartan may relate to left ventricular reverse remodeling in heart failure. European Society of Cardiology, 2024 年 8 月 30 日~9 月 2 日、ロンドン
- ・Atsuko Sakakibara, Yuri Ito, Yutaka Ueda, Toshiro Katayama, Asami Yagi, Mamoru Kakuda, Emiko Oka, Koichi Terakawa, Ikuo Konishi. Poor prognosis of early-onset cervical cancer patients based on gynecologic cancer registry data in Japan (2000-2013). The 36th

International Papillomavirus Conference & Basic, Clinical and Public Health Scientific Workshops, Edinburgh, 2024年11月12-15日、エディンバラ (英国)

【論文発表】

<和雑誌>

- ・松元知子、毎熊由美子、辻秀美、塚本達雄、本庶祥子：骨粗鬆症に対する人間ドックでの管理栄養士の取り組み 「骨コツ御膳」：臨床栄養 145 巻 2 号 p130-132
- ・塚本達雄：急性血液浄化療法の要点：医工学治療 36 巻 1 号 p11-14

<洋雑誌>

- ・Taniguchi M, Endo T, Asou M, Tsukamoto T. : Nephrotic "full-house" glomerulonephritis successfully treated with antibiotics alone in secondary syphilis: a case report. *CEN Case Rep.* 2024 Apr;13(2):86-92
- ・Watanabe T, Taniguchi M, Ogura S, Asou M, Takayanagi S, Sokai Y, Tsuji Y, Mori KP, Endo T, Nakajima T, Imura Y, Tsukamoto T. : Effectiveness and safety of plasma exchange for anti-MDA5 antibody-positive clinically amyopathic dermatomyositis with rapidly progressive interstitial lung disease refractory to intensive immune suppression therapy: A case series *Ther Apher Dial.* 2024 Jun;28(3):432-441
- ・Handa T, Fujii M, Ando M, Masuda M, Sokai Y, Tsuji Y, Fukuda Y, Ohue K, Higashi Y, Mori KP, Endo T, Tsukamoto T. : Correlation between bradykinin concentration and blood pressure during Rheocarna therapy: A single-center case series. *Ther Apher Dial.* 2024 Jun;28(3):453-459
- ・Torikoshi K, Endo T, Tsukamoto T., Yasuda T, Yasuda Y, Kawamura T, Matsuo S, Suzuki Y, Muso E. : Serum IgA/C3 ratio: a useful marker of disease activity in patients with IgA nephropathy. *Int Urol Nephrol.* 2024 Oct;56(10):3389-3396.
- ・Ariyasu Y, Torikoshi K, Tsukamoto T., Yasuda T, Yasuda Y, Matsuzaki K, Hirano K, Kawamura T, Yokoo T, Maruyama S, Suzuki Y, Muso E. : Analysis of the impact of obesity on the prognosis of IgA nephropathy according to renal function and sex. *Clin Exp Nephrol.* 2024 Nov;28(11):1155-1167.
- ・Kuwabara T, Miyasato Y, Kanki T, Mizumoto T, Matsubara T, Sawa N, Sugiyama H, Maruyama S, Sato H, Tsukamoto T., Murata T, Miyazaki M, Imasawa T, Mukoyama M, Murakami N, Jhaveri KD, Yanagita M; JSN Onconeurology working group. : Survey of renal Biopsy registry database and Anticancer dRUG therapy in Japan (SUBARU-J study). *Clin Kidney J.* 2024 Nov 28;17(12):sfaf327.
- ・Torii N, Yamamoto S, Matsubara T, Kataoka Y, Sakai K, Funakoshi T, Horimatsu T, Tsukamoto T., Murakami N, Jhaveri KD, Fukuma S, Terada T, Muto M, Fukuhara S, Yanagita M; Onconeurology Consortium in Japan. : Cancer diagnosis and prognosis after initiation of hemodialysis: multicenter Japan CANcer and DialYsis (J-CANDY) study. *Clin Kidney J.* 2024 Dec 20;18(2):sfaf430.

- Watanabe T, Yonemoto S, Ikeda Y, Kawaguchi K, Tsukamoto T: Copper deficiency anemia due to zinc supplementation in a chronic hemodialysis patient. *CEN Case Rep.* 2024 Dec;13(6):440-444
- Nishikimi T, Kinoshita H, Inazumi H, Kanamori T, Yanagisawa H, Moriuchi K, Nakagawa Y. Adrenomedullin in pulmonary hypertension. *Dan Med J.* 2024;71(12):A07240498.
- Takahashi M, Yamamoto S, Yamamoto S, Okubo A, Nakagawa Y, Kuwahara K, Matsusaka Taiji, Fukuma X, Yamamoto M, Matsuda M, Yanagita M. ATP dynamics as a predictor of future podocyte structure and function after acute ischemic kidney injury in female mice. *Nat Commun.* 2024 Nov 22;15(1):9977.

【研究・事業】

1. 文部科学省科学研究費補助金研究

- 1-1. 心不全病態形成に関わる心筋エピゲノム制御回路の包括的解明と治療標的の同定
(基盤 B 2024-2026 研究責任者; 桑原宏一郎、研究分担者; 中川靖章)
- 1-2. 心不全患者における TRPC3/6 シグナルのバイオマーカーとしての潜在的意義の検討
(基盤 C 2024-2026 研究責任者; 森内健史、研究分担者; 中川靖章)
- 1-3. 心不全における BNP、ANP 前駆体の分泌調節不全の機序解明と新規治療法の開発
(基盤 C 2022-2024、研究責任者; 中川靖章)
- 1-4. がん対策推進と患者の意思決定支援を目的とする「子宮頸がん予後予測モデルの開発」(基盤 C 2025-2027、研究代表者; 榊原敦子)

2. 厚生労働省科学研究費補助金事業・AMED 関連事業

- 2-1. 厚生労働行政推進調査事業補助金難治性疾患等政策研究事業『難病の克服に向けた研究推進と医療向上を図るための戦略的統括研究』(課題番号: 24FC2004) (研究協力者; 塚本達雄)
- 2-2. 厚生労働省科学研究費補助金難治性疾患等政策研究事業『難治性腎障害に関する調査研究』ネフローゼ症候群ワーキンググループ (研究協力者; 塚本達雄)
 - 日本ネフローゼ症候群コホート研究 (JNSCS)
 - 新規日本ネフローゼ症候群コホート研究 (JNSCS-In 研究)
 - Primary MPGN/C3 腎症と補体研究
 - 指定難病臨床個人調査票のデータベース活用に関する研究
- 2-3. 厚生労働省科学研究費補助金難治性疾患等政策研究事業『難治性腎障害に関する調査研究』急速進行性糸球体腎炎ワーキンググループ (研究協力者; 塚本達雄)
 - JKDR/JRBR を用いた RPGN の臨床病理学的解析
 - RPGN の疫学二次調査: 全国 RPGN アンケート調査
 - 指定難病臨床調査票を用いた疫学調査
- 2-4. 日本医療研究開発機構 (AMED) 研究 (研究協力者; 塚本達雄)
 - 日本ネフローゼ症候群バイオマーカー研究 (J-MARINE2)
 - 膜性腎症に対するリツキシマブ臨床試験 (PRIME)

3. 日本腎臓学会関連事業

- 3-1. 安全推進小委員会 (研究協力者; 塚本達雄)

3-2. 腎臓病登録・追跡小委員会（研究協力者；塚本達雄）

4. 共同研究・受託研究

4-1. 公益財団大阪成人病予防協会『地域がん登録と日本産婦人科学会のデータを用いた若年子宮頸がんの予後に関する研究』（研究代表者；榊原敦子）

（1）多時的コホートによる時系列変化の検討

（2）年齢と予後の関連についての検討

4-2. 子宮頸がん症例に対する手術療法・放射線療法（同時化学放射線療法）・化学療法の成績における年齢因子の影響の解析（日本産科婦人科学会データ）（研究協力者；榊原敦子）